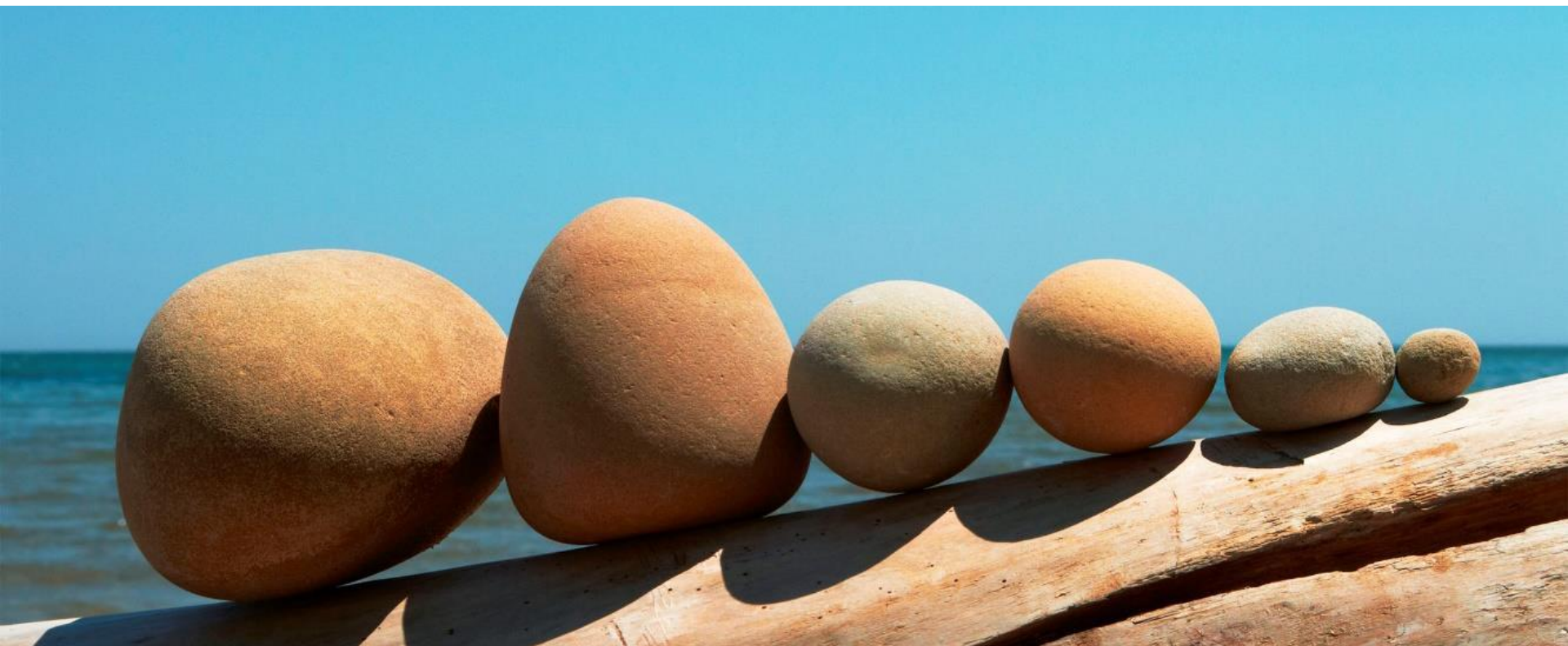


# 決算補足資料（2021年3月期第1四半期）

2020年8月3日 / 株式会社 シグマクシス（証券コード:6088）



# 2021年3月期第1四半期 決算概況

## サマリー (前年同期比)

● 連結売上高	33.6億円	(▲12%)
● 税金等調整前四半期純利益	3.0億円	(+4%)
● 四半期純利益	0.8億円	(▲46%)

- ERPクラウド化サービスの伸長が見られるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けている航空業界向けのコンサルティングサービスや、小売業界向けコールセンター案件におけるハードウェア製品やソフトウェア製品の調達代行のプロダクトセールスが減少したことにより減収
- 販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染症対策関連経費、採用に伴う人件費等関連経費の増加、ソリューション開発及び生産性向上のための投資により9%増加
- 株式会社ローソンデジタルイノベーションの株式の持分を全て売却したことにより税金等調整前四半期純利益は4%増加

# 2021年3月期第1四半期 連結損益計算書

単位:百万円	2019年度 (4月～6月)	2020年度 (4月～6月)	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	3,804	3,366	▲438	▲12%	ERPクラウド化サービスの伸 長が見られるものの、新型コ ロナウイルス感染症拡大の影 響
売上総利益	1,361	1,300	▲60	▲4%	
販管費	1,051	1,147	+96	+9%	・新型コロナウイルス感染症対 策関連経費、採用に伴う人件 費等関連経費の増加、ソ リューション開発及び生産性 向上のための投資
営業利益	309	152	▲156	▲51%	
経常利益	297	163	▲134	▲45%	
税金等調整前 四半期純利益	297	309	+12	+4%	・関係会社株式売却益
四半期純利益	161	87	▲74	▲46%	・評価性引当金の増加による影 響、税効果考慮前の四半期純 利益は、前年同四半期比 0.5%減の179百万円

# キー・パフォーマンス・インデックス (KPI)

	2019年度 (4月～6月)	2020年度 (4月～6月)	対前年同期比
従業員数	539	564	+5%
(コンサルタント数)	(479)	(498)	(+4%)
プロジェクト満足度(NSI*)	95	94	▲1pts
プロジェクト数	398	363	▲9%
クライアント数	114	125	+10%
契約あたり売上(百万円)	9.6	9.3	▲3%

\* NSI (Net Satisfaction Index) : プロジェクト満足度評価  
 における全10問、五段階評価結果の平均点

・形式: アンケート形式  
 ・ご回答頂く方: プロジェクト・オーナー

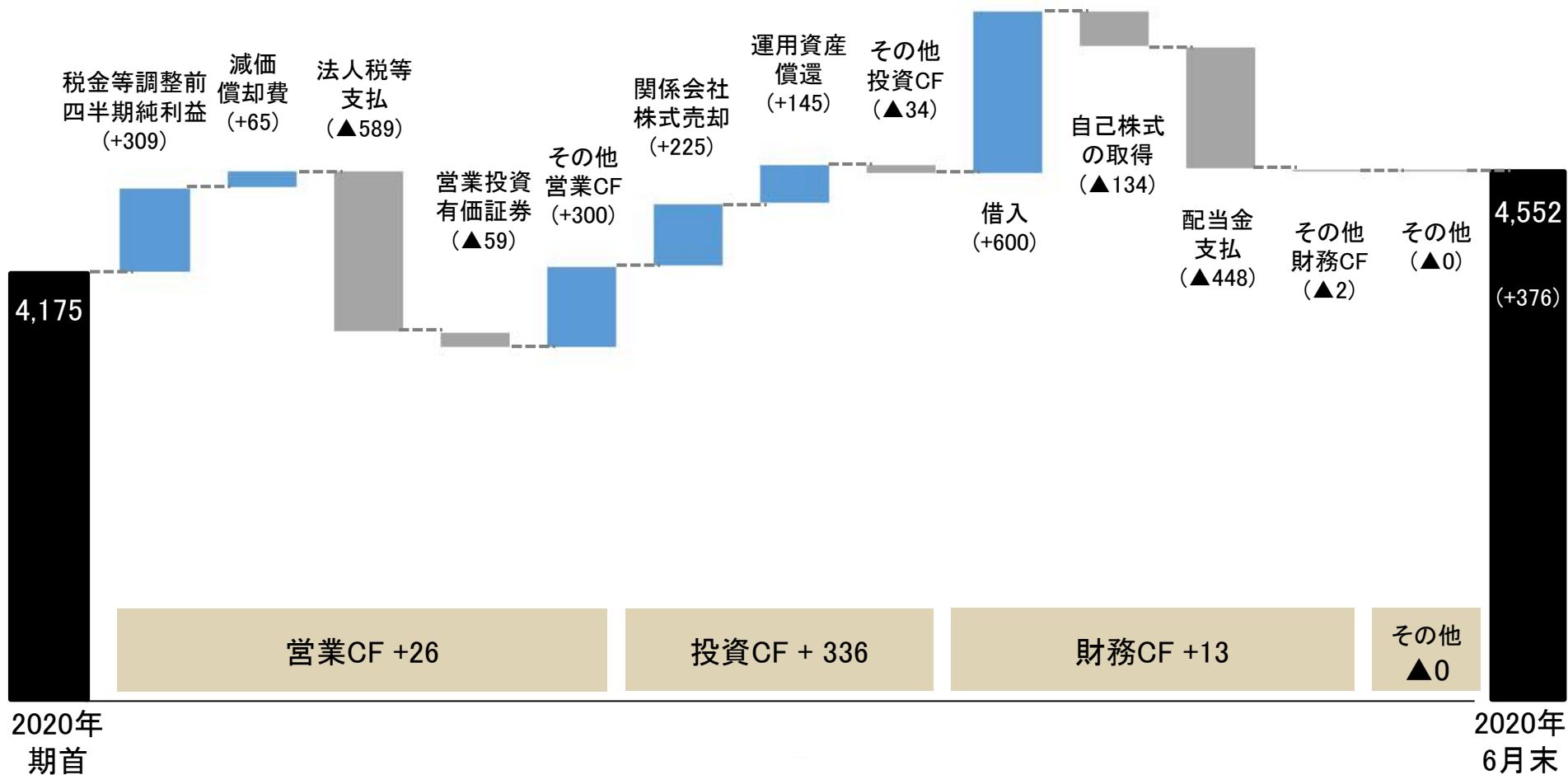
5: 大変そう思う 100点  
 4: そう思う 75点  
 3: どちらともいえない 50点  
 2: そう思わない 25点  
 1: 全くそう思わない 0点

## 2021年3月期第1四半期 連結貸借対照表

単位:百万円	2019年度末	2020年度 1Q末	対前期末	主な増減
流動資産	6,943	6,914	▲29	・現金及び預金の増加、売掛金の減少
現金及び預金等	4,175	4,552	+376	・借入の実施、配当金支払
固定資産	2,725	2,339	▲386	
資産合計	9,669	9,253	▲415	
流動負債	3,424	3,126	▲297	・借入の実施、未払法人税等の減少
固定負債	1,208	1,394	+186	・株式給付引当金の増加
負債合計	4,632	4,520	▲111	
純資産	5,036	4,732	▲304	・配当金の支払による減少
自己資本比率	52%	51%	▲1pts	

# 連結キャッシュフローの推移

(単位:百万円)



# トピックス：ERPのクラウド化

既存ERPの保守サポートが切れる「2025年の崖」と言われる状況に対して、シグマクシスはERPのクラウド化をスムーズに実現するとともに、お客様の成長シナリオを描き、組織・業務の変革とチェンジマネジメントにも取り組むことにより、お客様の企業価値向上の成果が実現するまでを支援。

ERPのクラウド化サービスを担うコンサルタントのSAP S/4HANA Cloud認定資格取得総数は38で、業界トップクラス(6月末時点)。

## ITに関する日本企業の現状

### 基幹システム

- ・老朽化 (20年超利用：現在2割、2025年6割)
- ・事業部門単位 → 全社横断的データ活用が困難
- ・過剰なカスタマイズ → 複雑化・ブラックボックス化

### IT予算

保守運用：バリューアップ = 8：2

### IT人材

基幹システムの保守運用にIT人材が割かれており、新技術獲得の足枷となっている

**このままだと2025年以降  
12兆円/年の経済損失※  
が生じる可能性がある**

2025年の崖

## 取り組むべきテーマ

基幹システムの  
クラウド化  
(業務の見直し)



デジタル  
トランスフォーメーション

## お客様事例



「SAP Award of Excellence 2020」  
プロジェクト・アワード受賞

NTTアドバンステクノロジー株式会社の「基幹システム刷新プロジェクト」をシグマクシスが支援し、基幹システムのクラウド化を約6か月で完了しました。このプロジェクトでは、SAPの次世代クラウド統合業務パッケージ(ERP)であるSAP S/4HANA Cloud, multi-tenant editionを活用し、日本企業の国内業務向けとしては初となる複数モジュール(財務会計、管理会計、販売管理、購買管理、プロジェクト管理)の一括導入を実現しています。(2019年6月時点)

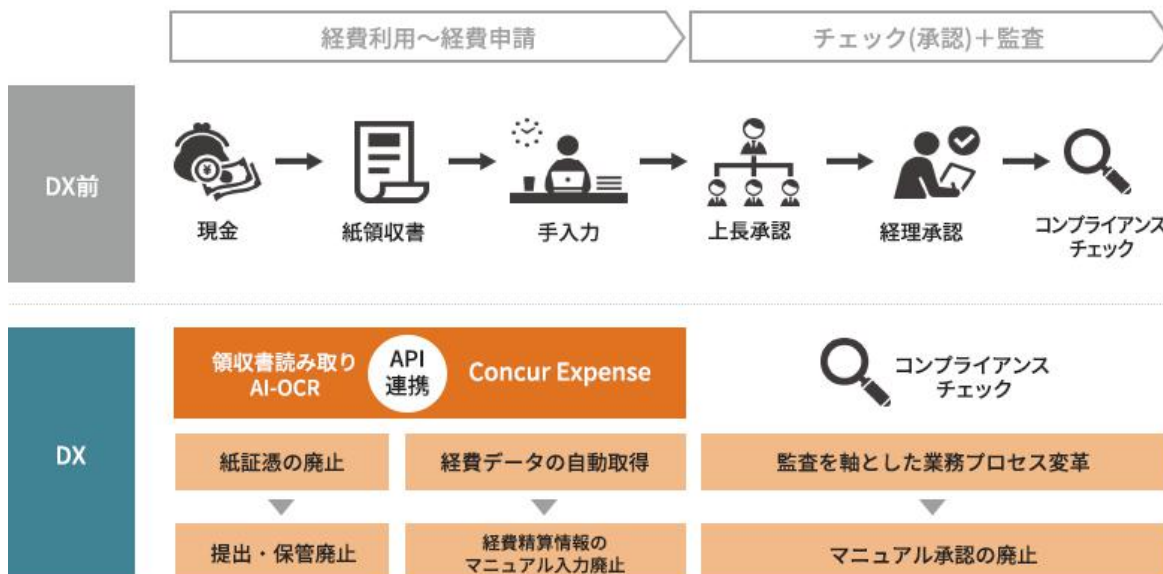
※経済産業省レポート(平成30年9月7日)より

# トピックス: 間接業務のデジタル・トランスフォーメーション

シグマクスは自社の経費精算および間接材購買に係る請求書管理の完全電子化を実現し、この取り組みによる知見をもとに、「間接業務のデジタル・トランスフォーメーション」サービスの提供を開始。

本サービスの推進に向けて、コンカーをはじめとした各種SaaSを活用したソリューション開発やパートナー連携を展開。全国での市場拡大を目指す。

## 自社での経費精算のDXによる、プロセス変革のイメージ



- 社員一人当たり28%の工数を削減
- 上司の承認プロセス(月平均120分)を廃止

## お客様事例

電子帳簿保存法に対応した業務プロセスと経費精算クラウドサービスの導入支援を通じて、塩野義製薬株式会社の証憑の電子化を含む経費精算プロセスの完全電子化を実現10か月で全社員5000名を対象に新業務プロセスとシステムの導入を完了。

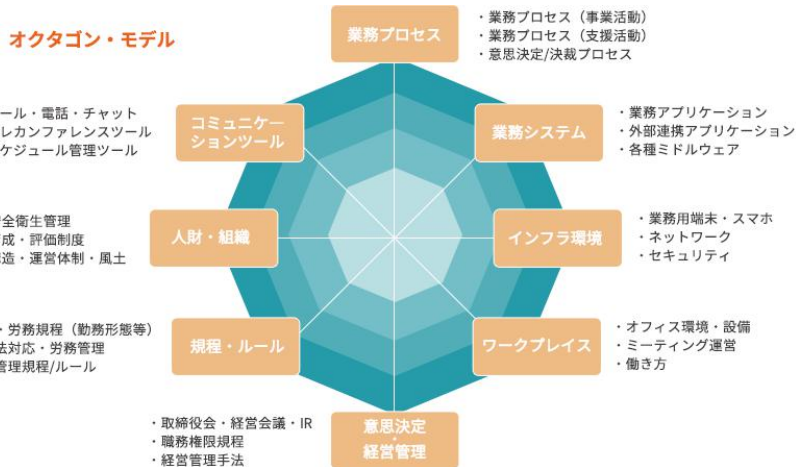


日経コンピュータ(2019年4月18日号)



# トピックス: 完全リモートワーク時代の事業運営

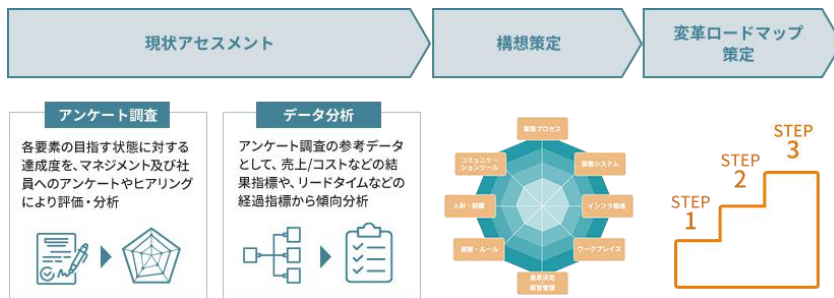
新型コロナウイルス感染症の拡大が世界規模で社会・経済に大きな影響を与えるなか、シグマックスが自ら実践するWithコロナ時代の企業の事業運営の視点を、包括的なオファリングとして提供開始。企業の安定的な事業運営のために連携して設計・整備する必要がある業務プロセスやシステム、各種規程、ツールといった8つの要素をモデル化し、それぞれの視点でソリューションを組み合わせて提供。



## シグマックスの完全リモートワーク環境



## 「見えない上司/部下の顔」の未来



●月×日  
オフィス勤務が必須ではなくなり、働き方がだいぶ変わってきた。毎日会うわけではないので、各メンバーの役割や目標をお互いに共有し、日々の業務の進捗はチームメンバーの自律性に任せている。  
受注状況などの大事な指標はウェブ上のダッシュボードでリアルタイムに確認できるので、以前のように部下の顔が見えないと不安、ということもなくなった。

人事評価制度も大きく変わり、能力ベースの評価システムが導入された。年次評価の面談はリアル、オンラインなど、個人の業務状況に合わせて行った。期初に設定した目標に対して、アウトプットを重視した評価を行っている。ある部下は、誰も知らなかった新しいツールを取り入れて業務改善を行った、と嬉しそうに成果を報告してくれた。仕事を任せられたことで、業務効率、モチベーションともに上がっているようだ。

# トピックス: デジタルワークプレイス環境

2008年の創業以来、厳格なセキュリティポリシーに則りデジタルワークプレイス環境を整備。

社員が自らの価値創造活動に最も適した時間と場所を自由に選べることを目的とし、以下の環境・仕組みを通じて、事業運営に関わるあらゆる分野でデジタルを活用し、オフィス勤務に依存しない事業活動を展開。

- 全社員のデジタル・モバイルツールの利用
- 社内情報のデジタル共有およびペーパーレス化
- WEB会議システム、ビジネスチャット等のコラボレーションツール利用
- 経費精算など各種社内業務の電子化
- リアルタイム経営管理システムによる運営
- 人財の能力評価制度
- 全社フリーアドレスによるオフィス運営



# トピックス: フードイノベーションのリーディング企業として発信

メディアからの取材や講演、寄稿、書籍を通じての情報発信に加え、政府が主導する勉強会にコアメンバーとして参画。

2020年7月には、同領域のコンサルタントがWith&アフターコロナ時代の「食」の在り方、世界最先端のフードビジネスを徹底解説する日本初の食のビジネス書『フードテック革命』を上梓。

- ✓ 『フードテックの未来 2019-2025』（2018年、日経BP社）
- ✓ 『フードテック革命』（2020年、日経BP社）



# トピックス: 非財務価値の充実(SDGs、ESGへの取組み)

企業の価値を財務価値と非財務価値を総合したものと捉え、SDGs(持続可能な開発目標)、ならびにESG(環境、社会、ガバナンス)を重視して事業を推進。

## SDGs

- プロジェクト開始時に、当該プロジェクトがSDGsの17のゴールいずれの項目の達成に貢献するかについて、顧客と合意形成を実施

顧客課題の解決のみならず、社会課題の解決に向けた価値創造を目指す



SIGMAXYZ supports the SDGs



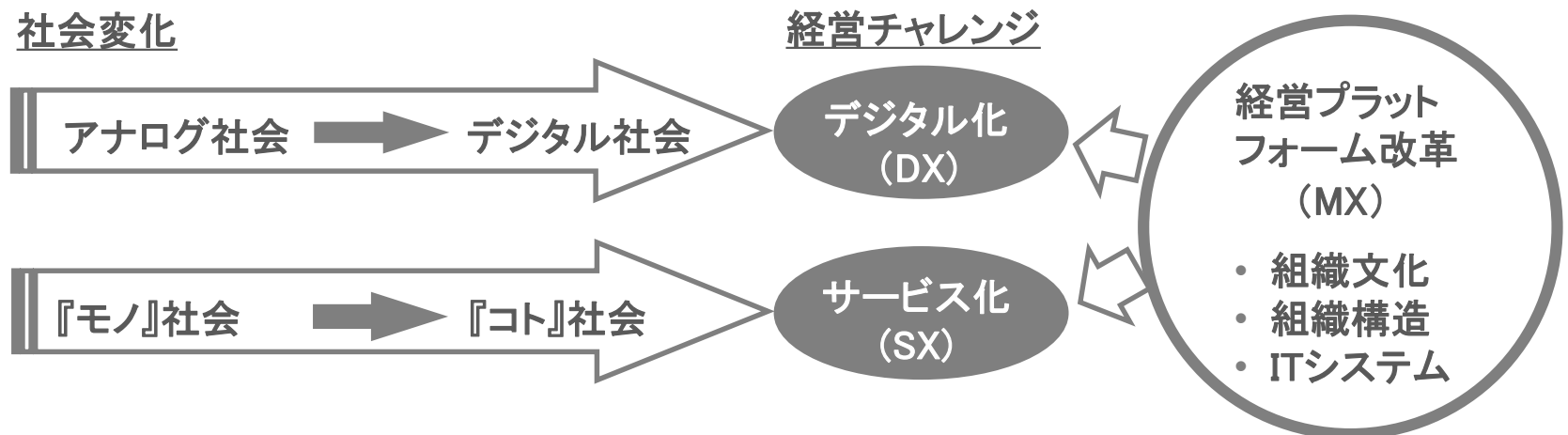
<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

## ESG

- 社内情報のペーパレス化(2020年3月期の社員1人当たり月間コピー/印刷枚数:160枚[前年度比12%減])、自社事業所内でのペットボトル飲料提供の完全廃止、プラスチック素材のクリアフォルダーを紙素材に切り替え
- 社会課題の解決に向けて、内外の共感者・賛同者を集めエコシステムを形成する「ソーシャル・マルチサイド・プラットフォーム」の構築を推進
- 独立社外取締役比率を過半数の58%、監査等委員会・報酬委員会の各委員長を社外取締役とするコーポレートガバナンス体制で運営

# 当社が目指す デジタル・トランスフォーメーション「3つの変革」

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| 1) DX(Digital Transformation)    | 既存事業の効率化     |
| 2) SX(Service Transformation)    | 新価値の創造       |
| 3) MX(Management Transformation) | 経営プラットフォーム改革 |



# シグマクシスの事業

企業の多様な経営チャレンジに対して、幅広い分野でのコンサルティングサービスの提供と、関連する各種事業の立上げ・運営を行っています。

あわせて、多様なプロフェッショナルおよび企業とのネットワークによるエコシステムの形成を通じ、企業、業界を超えた価値創造活動の推進を目指します。

## コンサルティングサービス

デジタル・トランスフォーメーション  
プログラム&プロジェクトマネジメント  
基幹システムのクラウド化  
ビジネスプロセス変革  
人と組織のイノベーション  
M&A戦略立案  
プラットフォーム戦略立案  
マルチサイドプラットフォーム構築



- ノウハウ・知識
- 人財
- ネットワーク
- 資金

## アライアンス

新規事業開発  
事業投資  
ジョイントベンチャー設立・運営  
ジョイントサービス開発・提供  
インキュベーション

エコシステム形成・運営

# スキルチーム

多様なスキルのプロフェッショナルを組み合わせ、プロジェクトを編成します。

## インダストリー シェルパ

業界特性と業務プロセスを理解し、変革シナリオを描く

小売業	製造業	ロジスティクス
航空業	運輸・交通	コミュニケーション
消費財	保険・金融	公共・インフラ
医薬	商社	メディア・エンターテインメント

## ヒューリスティック シェルパ

人と組織のイノベーションで経営変革／企業を繋ぎ価値創造

ビジョンフォレスト\*  
組織設計  
マルチサイドプラットフォーム

\*アートを活用した人財活性化プログラム

## PS\*\* シェルパ

プロジェクト管理 (PMO) と SaaS で企業の変革を推進する

プロジェクト・マネジメント	チェンジ・マネジメント
ベンダー・マネジメント	SaaSソリューション
ステークホルダー・マネジメント	SaaSインテグレーション
インテグレーション・マネジメント	ラピッド開発マネジメント

\*\*PMO & SaaSの略

## デジタル シェルパ

デジタルテクノロジーを企業のビジネスに実装する

デジタルトランスフォーメーション	AI
デジタルアーキテクチャー	IoT & ロボティクス
デジタルアプリケーションデザイン	サービスデザイン
プロセスデザイン	ITプランニング

## アライアンス

新規事業開発、事業投資、ジョイントベンチャー設立・運営、ジョイントサービス開発・提供、インキュベーション

# アライアンス

ビジネスパートナー、グループ会社、事業投資先とコラボレーションしてエコシステムを形成し、価値創造



DataRobot



## 子会社

M&Aアドバイザー  
株式会社SXA  
Oaklins

金融EDIサービス  
株式会社SXF  
central

## 関連会社

AnalySys.

## 事業投資先

SX Capital  
invest in wonder

MONSTARLAB

sala

Creww  
大挑戦時代をつくる。



GHELIA

JTB Benefit



# 子会社・関連会社

社名	設立・事業開始・資本参加年 (JVパートナー、議決権割合)	事業内容
<b>株式会社SXA</b>	2014年 (100%子会社)	M&Aアドバイザーサービスの提供 (ファイナンシャル・アドバイザー/デューデリジェンス/ バリュエーション/事業再生アドバイザー/社内M&A体制構築)
<b>株式会社SXF</b>	2019年 (100%子会社)	金融EDIに係る各種サービスの提供 電子決済等代行業者: 関東財務局長(電代)第40号
 株式会社AnalySys.	2014年 (株式会社Plan・Do・Seeとの JV、49%)	ブライダルマネジメント・アプリケーションのクラウド提供/ シグマクシスソリューションの開発・提供

# 事業投資先 (1/2)

社名	設立・事業開始・資本参加年 (JVパートナー/主な株主)	事業内容
 invest in wonder 株式会社SXキャピタル	2016年	未公開ITベンチャー企業を対象とした投資事業組合等の財産運用および管理
 株式会社サーラ ライフスタイルイノベーション	2017年 (株式会社サーラコーポレーションとのJV)	サーラグループにおけるマーケティング・プラットフォーム事業
 ギリア株式会社	2018年 (株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、株式会社WiL、みずほFinTech投資事業有限責任組合)	AIソリューション事業
 株式会社モンスター・ラボ	2019年	世界中のITエンジニア・クリエイターを活用し、最適なリソースを提供するデジタルプロダクト開発企業

## 事業投資先 (2/2)

社名	設立・事業開始・資本参加年 (JVパートナー/主な株主)	事業内容
 大挑戦時代をつくる。 <b>Creww株式会社</b>	2019年	国内最大級のスタートアップコミュニティの運営およびスタートアップ企業向け各種サービスの展開
 <b>株式会社JTBベネフィット</b>	2019年 (株式会社JTB)	福利厚生ソリューション、健康支援ソリューション、生活設計支援ソリューション、CRM支援ソリューション、インセンティブソリューションの提供
 Toletta Cats <b>株式会社トレッタキャッツ</b>	2019年	ペット関連サービス

## 2020年度 連結業績予想

単位:百万円	2020年度	対前期増減額	対前期増減率
売上高	14,500 ～15,500	▲1,503 ～▲503	▲9% ～▲3%
税金等調整前 当期純利益	1,750 ～2,350	▲426 ～+173	▲20% ～+8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,050 ～1,520	▲357 ～+112	▲25% ～+8%

売上高: 小売業界向けコールセンター案件におけるハードウェア製品やソフトウェア製品の調達代行のプロダクトセールスを含むため、特定値ではなくレンジ形式で開示。

利益: 成功報酬に類するキャピタルゲイン及び事業投資による収益が、会計上、特別利益となる場合があるため、経常利益を引き続き未定とし、税金等調整前当期純利益及び親会社株主に帰属する当期純利益をレンジ形式で開示。

## 配当方針

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。
  - 2020年度の年間配当金は22円を予定

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマキシスグループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマキシスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマキシスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)

問い合わせ先: [info@sigmaxyz.com](mailto:info@sigmaxyz.com)